



芝全交名寓書

九

實政九

13
2946
144



2995

2946
144

夢妄言書自叙



武高三馬著述

人間舞臺有五臟狂言生涯恰如禪史卷尾

顏回曰曲臂枕樂在其中云云蓋全交譯味說

唐籍深言使人茶表吐妙言壯子夢非胡蝶而

草紙夢睡五蝶世界去赤木宿昔可惜專命

僂盧生夢嗚呼夫是夢哉夢哉介云

干首寬政丁酉春全交戲作欲追善

武高三馬著述

武高三馬

昭和九年七月二日



此の物語は、昔の事だ。ある朝、
 王様が御座る所に、侍が
 参上して、御座る。王様が
 侍に、何か御座るか、と
 尋ねた。侍は、御座る、と
 答へた。王様が、何か
 御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。王様が、
 何か御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。

この物語は、昔の事だ。ある朝、
 王様が御座る所に、侍が
 参上して、御座る。王様が
 侍に、何か御座るか、と
 尋ねた。侍は、御座る、と
 答へた。王様が、何か
 御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。王様が、
 何か御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。



この物語は、昔の事だ。ある朝、
 王様が御座る所に、侍が
 参上して、御座る。王様が
 侍に、何か御座るか、と
 尋ねた。侍は、御座る、と
 答へた。王様が、何か
 御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。

この物語は、昔の事だ。ある朝、
 王様が御座る所に、侍が
 参上して、御座る。王様が
 侍に、何か御座るか、と
 尋ねた。侍は、御座る、と
 答へた。王様が、何か
 御座る、と尋ねた。侍は、
 御座る、と答へた。



まもつゝおの
たのやをの
のいふらひ
さうりも
まもつゝおの
たのやをの

みまわが
あつゝおの
てんのか
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの



あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの
あつゝおの

